

令和5年度 事業計画

社会福祉法人 藤花会

社会福祉法人 藤花会

特別養護老人ホーム 小規模多機能ホーム 居宅介護支援事業所
せとうち・せとうちの郷

【施設方針】

1. 法人の理念・方針の実践
2. 職員採用・育成の強化
3. 経営基盤の安定・強化
4. 職員の意識改革と資質の向上
5. 入居者・利用者に対するサービスのより一層の向上
6. 家族・地域との関わり
7. SDGs の推進

1. 法人理念・方針の実践

理念の「地域の中で共に生きる」を合言葉に地域にとってなくてはならない施設を目指す。地域との交流(町内会・保育園・小学校)、福祉教育の実践(中学・高校)、ボランティアの導入、実習生やインターンシップ(中学校・高校・各専門学校・大学短大)の受け入れを積極的に行い、地域住民や各種団体(社会福祉協議会等)との更なる連携を図る。「私たちが入居(利用)したい施設を創る」ために、常に施設の在り方を考える。

2. 職員採用・育成の強化

- (1) ターゲットを 20～30 歳代に⇒育成の強化
- (2) シニア人材・障がい者雇用は引き続き継続
- (3) 競争相手は福祉業界ではなく、一般企業
- (4) 新入職員の育成プログラム
- (5) ミスマッチを防ぐ

3. 経営基盤の安定・強化

- (1) 経営組織のガバナンスの強化
- (2) 事業運営の透明性の向上
- (3) 財務規律の強化⇒適正な利益を確保
- (4) 地域における公益的取組を実施する責務
- (5) 働き方改革の推進
- (6) BCP(事業継続計画)の策定
- (7) エンゲージメントの強化⇒離職率 10%以下
- (8) 地域の相談窓口(プラットホーム)の設置⇒介護離職の防止

4. 職員の意識改革と資質の向上

サービスの質を向上するための教育や研修に積極的に取り組み、外部講師、内部講師を活用して職員のレベルアップに努める。「新人職員向け研修」「中堅職員向け研修」「指

導的職員向け研修」を行う。職員一人ひとりの新たな気づきや発想の転換を大切にし、主体的に行動し、創意工夫できる力を引き出すことを目指す。

- オンライン研修への参加
- 各委員会の向上
- 介護グランプリにエントリー（令和5年12月 介護福祉士会主催）

5. 入居者・利用者に対するサービスのより一層の向上

- (1) ケアプランに基づいた生活支援：個別ニーズに対応したケアプランの充実を図り、ケアプランは職員一人ひとりが立案可能となり、サービス面でもその遂行確認が出来るように努力する。
- (2) 安心・安全・快適な生活環境の整備：居室担当者は、各受け持ち居室の環境整備に努める。各委員会の機能を生かし、充実したサービスが提供できるように各委員会の連携を図る。
- (3) 身体拘束廃止・虐待防止の取り組み：原則身体拘束のない介護の提供を行う。
- (4) 接遇の向上：「接遇とは、相手を大切に思う気持ち、状況(場面)に応じて適切に表現する」福祉実践そのものを指している。接遇の向上は「介護の質」を高め、何よりも入居者・利用者にとって心地よい生活空間と顧客満足をもたらす原動力そのものである。一個人として、そして施設全体として不断に自己点検と相互点検を通して、接遇の向上に努める。

6. 家族・地域との関わり

昨年度再開した「こども食堂」、「認知症カフェ」を中心に「せとうち」「せとうちの郷」で以前開催されていた下記の行事に参加を促し、ご入居者だけではなく、地域住民との関わりも密にする。お互いに「顔の見える関係作り」を目指し、今後のケアの向上に向けて相乗効果を図る。

- ◇芋掘り ◇喫茶 ◇夏祭り ◇勉強会（認知症・介護予防など）
- ◇認知症カフェ（生き生きカフェ） ◇学習教室 ◇こども食堂（せとうち食堂・藤花ちゃん食堂）

7. SDG s の推進

国連が定めるSDG sの実現を2030年までに達成するために、下記を目標とする。

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 8 働きがいも経済成長も
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任つかう責任
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

せとうち

【相談員】①②③④⑤⑥⑦

目標

- ・ショートステイ稼働率 96%以上

行動計画

○居宅、病院との連携

紹介の多い瀬戸内市、岡山市東区、備前市の居宅・病院との連携強化を図り、空床が出た場合は速やかに情報提供し、利用を促していく。

毎週月曜日に空床状況を居宅に FAX で知らせる。

動画や広報誌等を活用し、せとうちショートステイの魅力を発信していく。

○ショートステイ利用者数の維持

在宅生活が困難となってきたご利用者に関しては、居宅ケアマネと連携し、連続したショートステイでの受け入れや長期入居への移行をすすめ、新たなご利用者を獲得していく。

○新型コロナウイルス感染防止のための取り組み

前日連絡の際、ご利用者本人・ご家族に体調不良がないかを確認、ご利用者には日々の健康状態に特に留意していただくようお願いする。来所時の検温、手指消毒の実施。

ご利用者本人・ご家族に体調不良がある場合には利用を控えていただくよう徹底する。

目標

- ・入院・退居に伴う空床期間の短縮

行動計画

○退居者が出た後、一日も早い新入居が可能となるよう、面接・判定を事前に済ませておくだけでなく、候補者ご家族との連絡を密にし、現在の状況を把握しておくと共に空床が出来た際に早く動いていただけるよう協力を求める。

○病院ソーシャルワーカーと連携し、入院中の利用者の状況を定期的に把握、退院時の受け入れをスムーズに行う。藤田病院への入院期間が 1 月を超えた方には経過確認表を送付し、経過や退院予定日等の情報共有を行う。

目標

- ・藤田病院、せとうち小規模、せとうちの郷・小規模、老健はるかとの連携、情報交換

行動計画

○お互いのご利用者についての情報交換を行い、ご利用者のニーズに合ったサービスを提供できるようにしていく。

目標

- ・地域との関わり、連携の強化

行動計画

- 施設の窓口として感染状況を考慮しながら地域との交流やボランティアの受け入れを積極的に行っていく。
- 社会福祉法人に求められる地域での役割を果たすため、平時からのネットワークの構築や発災時の支援活動も意識し、地域の生活拠点としての業務継続計画の策定を行う。

【ケアマネジャー】

目標

- ・多職種との関わりを大切にし、連携強化を目指す

行動計画

- カンファレンス時だけではなく、多職種と関わる時間を増やし、情報交換、共有を行う。
- 得た情報をもとにどのように対応できるかをしっかり協議し、質の高いケア提供へとつなげる。
- カンファレンス時に自立支援等について検討を行なっていく事で、個々の状態に応じた支援へとつなげていく。
- 毎月のユニット会議へ参加し個々のご利用者の細かな状態変化について検討し情報共有していく。

目標

- ・ご利用者、ご家族と関わる時間を増やし、意向や思いに沿ったケアプラン作成

行動計画

- 定期的にユニットラウンドし、ご利用者と関わりを持つ機会を増やしていく。
- ご家族とも面会時や行事時の機会を通じ、積極的に関わりを持ち、思い、要望を把握していく。(コロナの状況によって面会や行事等行なえない場合、書面や電話等のツールを使用し行なう)

目標

- ・看取り支援への取り組み

行動計画

- 多職種がスムーズに連携ができるように、ご利用者の状態に応じ、カンファレンス開催し、調整を図る。
- カンファレンス時にご利用者のご家族の思い、意向をケアプラン作成に反映していくと共に速やかな支援へつながるよう働きかけを行なっていく。
- コロナの状況を考慮しながら、ご利用者のご家族の面会がスムーズに行えるよう、その都度配慮を行なっていく。

【管理栄養士】④⑤⑥

目標

- ・委託業者と協力し、ご利用者に喜んでいただける食事の提供
- ・咀嚼や嚥下機能に配慮した食事の提供

行動計画

- 安全を第一にしながらも楽しみを感じていただき、また季節感、地産地消を心がけた食事の提供。
- ミールラウンドを行うことで、ご利用者の咀嚼や嚥下状態等、状態把握に努め、その方に合った食事の提供を心がける。

目標

トロミ材や特殊食品の価格高騰のためコスト削減

行動計画

- トロミ材、ゲル化剤の種類見直しと、変更した場合の食感の変化を委託業者さんと確認、フロアへの提案

目標

- ・感染症発生時等、対策

行動計画

- 施設内での発生時におけるディスポ食器の使用や備蓄食品使用等の対策。
- 厨房委託業者内での発生時における対応策の検討、マニュアル作り。(備蓄食品を使用した簡易献立の組み立て)

【機能訓練指導員】①②③④⑤⑥⑦

《入居》

目標

- ・ご入居者様の健康の維持

行動計画

- 多職種協働のもと、的確な生活の中での機能訓練と良姿勢保持に対する情報を提供する。

《ショートステイ》

目標

- ・ご利用中に機能低下させない

行動計画

- 多職種と協働して、的確な生活の中での機能訓練と良姿勢保持に対する情報を提供する。
- 個別機能訓練の提供
- 介護予防に対する取り組み
 - 月1回の講和・予防体操を実施する。

《ショートステイ》

目標

- ・ご利用中に機能低下させない
- 数値目標：ご利用者の身体能力・認知能力・生活意欲の維持・向上率 60%以上

行動計画

- レクリエーションを通じて社会参加や社会貢献を行う
 - ① 社会参加や社会貢献を視野に入れたレクリエーションを積極的に行う。
 - ② ご利用者が社会参加や社会貢献を行えるよう、個別機能訓練、介護士との連携による生活リハビリにより心身機能・意欲を維持・向上させる。
 - ③ ショート棟職員自身の健康維持により、質の高いサービスを提供できるよう、肩こり・腰痛予防のための取り組みを継続する。
- 数値化による仕事の『見える化』を行う
 - ① ご利用者の身体機能・認知機能・意欲を数値化する。(年2回の実施により比較検討)
 - ② 職員の仕事に対する意欲・やりがい、ストレスなどを数値化する。
- 介護予防に対する取り組み
 - ① 介護予防ショートステイを特養せとうち全体で取り組む「カフェせとうち(仮)」に組み込み、継続していくと共に地域貢献活動につながるものにしていく。
 - ② 介護予防講座(瀬戸内市社協依頼)開催などの地域支援活動を行う。
- 紹介ツールの作成と広報活動
 - ① ショート棟新聞(第4版)を作成する。
 - ② 相談員・ケアマネと連携し、居宅事業所、コミュニティハウスをはじめ近隣地域への施設紹介はもちろん、小・中学校や高校・専門学校などにも新聞や広報誌などを掲示・設置することで、ショート棟の取り組みを積極的に発信していく。
- その他
 - ① 機能訓練における感染症対策を十分に行う。

【事務】②④⑤⑥

目標

- ・SNS発信のための情報収集、各フロアへの呼びかけ等を行う。

行動計画

- 社会情勢に合わせた施設の対応など、施設の様子を随時発信し、新しいことや変更点など、ご利用者ご家族や求職者へ情報提供に努め、施設とのコミュニケーションも図れるようにする。

目標

- ・事務所、倉庫の整理整頓とコスト削減

行動計画

- 書類や物の片付け、消耗品の整理整頓に努め、わかりやすく取り出しやすい配置をする。
在庫管理にて適量をストックすること、発注ミスを防ぐこと。ペーパーレス化に伴い、関連する事務備品の見直しを行い、コスト減に繋げる。

目標

- ・事務所内、玄関・受付の雰囲気作りと藤花会のPR

行動計画

- 今後、面会や来客が増えることが予測されるので、常に整理整頓と清潔を心掛け、玄関周りの美化に努めること、またお客様へは気持ちのよい接客を心掛ける。
お待ちしております方や来客の方へ情報提供できるものを掲示し、藤花会をより知ってもらおう。

【本館1階ふくろうユニット】①④⑤⑥

目標

- ・目配り・気配り・話し合い 笑顔でコミュニケーションを取ろう

行動計画

- フロア内だけでなく他職種としっかり連携し、報告・連絡・相談を密にすることで統一されたケアを行う。
- ご利用者の変化や違和感にいち早く気づけるように、情報共有しやすい環境作りを行う。
- ご家族への配慮を忘れず、こまめに連絡をとることで安心感に繋げる。
- 職員・ご家族ともに笑顔でコミュニケーションをとり、明るいフロア作りを目指す。

【本館1階きじユニット】④⑤⑥

目標

- ・すごしやすい空間作りをする

行動計画

- ご本人・ご家族としっかりコミュニケーションをとり、ご利用者の好み・ニーズに合ったケアを行う。
- ご利用者の変化や違和感にいち早く気づけるよう情報共有しやすい環境づくりを行う。
- フロア・居室内共に環境整備を行い、職員とご利用者がゆっくりと過ごせる場所、その人らしい生活の場を作成する。

【本館2階】④⑤⑥

目標

- ・安心・安全に過ごし、また来たいショート棟作り

行動計画

- ご利用者個々の楽しみ、ニーズを見出し、個別ケア、趣味活動に繋げていく。
- 地域交流、レクリエーション、季節に合わせた行事を行い、心身機能を低下させないように努め、日々の生活を楽しんで頂けるようにしていく。
- 退居時の忘れ物があった場合、事故報告書を作成、原因を分析しその再発防止を行う。
- 消毒等、感染症予防を徹底し、ご利用者の体調の変化について、リハビリ職、看護師等の他職種間で情報共有を行い、体調不良等の早期発見や対応に繋げる。

【本館3階 かわせみ】④⑤⑥

目標

- ・その人らしい生活を送って頂く

行動計画

- ユニットケアの理解を深める
居室担当を中心に、聞き取りチェックシート・24Hシートの見直し、居室の設え作りを行い、その方に合った生活を支える。
- ご利用者のニーズに応える
日々決まった業務をこなすだけでなく、その方の普段と違った様子に気づき、また何がしたいのか、どうしたいのか、ご利用者の立場に立って考え行動する。
- ご家族との関わりを大切にする
面会時、挨拶だけでなく、日々の様子を伝えるようにする。毎月、写真を送り様子を知っていただく。また、居室担当を中心にタブレットを活用しご家族とコミュニケーションを図る。
- 職員間の連携を図る
「知らなかった」を無くす為、ご利用者の小さな変化や些細な事、ご家族とのやりとりなど、細かな事でも介護記録や申し送りノートに記載し、情報を共有する。

【本館3階 ひばりユニット】④⑤⑥

目標

- ・自分の住まいと思えるような環境をつくる

行動計画

- 多職種と連携を行いご利用者様の細かい情報も共有する事に努め、ご利用者様が24時間安心して暮らせる環境をつくる
- 今までの暮らしが継続できるように、ご利用者様の事を理解しニーズに対応する
- ご家族様と密に連絡を取り、ご利用者様の様子をこまめに伝えいつでもお会いしていただける環境をつくる

【新館2階 もずユニット】④⑤⑥

目標

- ・安心してもらえる居場所を作る

行動計画

- 報告・連絡・相談の周知徹底を図り、職員間の円滑なコミュニケーションに努め共通理解を図りチームワークを意識する。
- ご利用者様の表情や、様子をよく観察し小さな変化にすぐ気づけるようにする。
- 居室や、ユニットの環境整備を行い安心・安全に生活して過ごして頂ける雰囲気を作る。
- ご家族様からの質問等に対して、適切な応答ができるように介護記録や申し送りノートに書き、情報を共有する。
- 出来ること・楽しみを見つけ日々の関わりを増やす。

【新館2階 つばめユニット】④⑤⑥

目標

- ・職員間の情報共有を行いケアの統一を図る

行動計画

- 報告・連絡、相談を周知徹底し、コミュニケーションが取りやすい環境作りをする。
- 入居者様一人一人に応じた生活リズムや楽しみを見つけ支援の質を高める。
- モニタリングに沿った支援を行う。

【新館3階】④⑤⑥

キウイユニット目標

- ・チームワークを高め、笑いの絶えないユニットに

行動計画

- 職員間でコミュニケーションをしっかりととり、お互い様の気持ちを大切にし共に支え合い成長できる雰囲気づくりをする。
- フロア内が常にご利用者で賑わうよう個々の楽しみを把握する。
- 業務改善し、ご利用者とのかかわりの時間を作る。(職員が複数いる時間を作る)
雑用や業務を明確にし効率よく行動する。

ペンギンユニット目標

- ・入居者様が落ち着いて過ごせる雰囲気を作る。

行動計画

- 居室には昔使っていたなじみの家具等を設置し、その方の空間であることを感じていただきやすくする。気持ちよく過ごしていただけるよう小まめな整理整頓を心がける。
- 余暇活動 趣味や好きな物などその方のことをさらに知り楽しみを提供していく。他者とのかかわりが苦手でない方であればフロアに出て来て他者の中で過ごす時間を作る。
- 新しく配属された職員でも共通理解を持てるように職員間のコミュニケーションをしっかりと情報共有行う。入居者様との関りをよりよくしていくためにお互いに協力できる関係性を作り、必要に応じて業務改善も検討していく。

【介護統括】①②④⑤

目標

- ・リーダー、新人の育成

行動計画

- リーダーに対し、「リーダーの心得、役割」について学び、身につけて行動できるように指導していく。
- 新人に対し、基本技術をしっかり学べるように1か月の研修期間とする。
- スムーズに成長していけるような教育体制を作る。
- 実際に新人について業務に入り、細かな指導をしていく。
- 新人に合ったペースで動けるようにその都度プリセプターと考えていく。

目標

- ・職員全員が働きやすい環境を作る。

行動計画

- 定期的に面談を行い、現状の把握、職員の悩みや思い、意見等どんなことでも貴重な報告と捉え耳を傾ける。改善点があればユニットリーダーなど多職種と相談し、風通しの良い環境を作っていく。

目標

- ・「ユニットケア受け入れ施設」に向けて、多職種と連携し施設全体で取り組む。

行動計画

- ユニットケア推進委員会を立ち上げ、計画表を作成し、受け入れ施設として実施できるように仕上げていく。
- 入居者主体である業務、勤務表へと変更する。
- 入居者一人ひとりの生活を充実できるようにユニット会議、カンファレンスに参加し、助言、指導を行う。(24時間シート、聞き取りチェックシートの必要性など)

【看護】④⑤⑥

目標

- ・ご利用者の健康管理と異常の早期発見 対応
多職種との連携強化によるご利用者への個別支援強化

行動計画

- ご家族との情報共有のためのコミュニケーションを図る。

- 高齢者にみられる疾患や感染症の正しい知識と対応方法を伝え、感染予防に努める。
- 援助方針を職員間で共有し、質の高い看取りケアを実践する。
- 褥瘡を作らない。
- 看護間 多職種のコミュニケーションを密にし、より良い支援を行っていく努力をする。
- 研修に参加する。

【小規模】①③④⑤⑥⑦

目標

- ・ご利用者様に寄り添うケアを徹底し笑顔の絶えない関係性をつくり、ご利用者様、ご家族様、職員ともに安心、安全な事業所を目指す

行動計画

- ご利用者様やご家族様、職員間などお互いに理解を得る声掛けができる
 - ・説明や声掛け時には相手が理解しているか確認を取る。
 - ・細かい情報共有ができる関係性を作っていく。
 - ・信頼関係を構築し迅速な動きを取れるようになる。

- 感染症対策を全職員が徹底できる
 - ・定期的な換気や手指・備品の消毒を徹底し、感染対策を日頃から徹底する。
 - ・感染症やガウンなどの感染対策の情報をご家族様、職員間で情報交換できるような関係性を構築していく。

- 専門知識を習得と地域社会との繋がりを構築していく
 - ・外部研修や内部研修への積極的な参加。
 - ・管理者やケアマネだけでなく他職員も地域行事などへの参加。
 - ・専門知識や技術の向上で自信の持てるケアをおこなっていく

- 安定した事業所の収入を得ていく
 - ・毎月の目標予定金額、実績金額を全職員が把握し意識する
 - ・訪問、通い、泊りのサービスを柔軟に対応できるような職員配置をおこなう

【居宅介護支援事業所】①②③④⑤⑥⑦

目標

- ・感染対策を図りながら、多職種と連携して、地域の相談窓口となる。

行動計画

- 「地域の中で共に生きる」を合言葉に、地域住民や各種団体と更なる連携を図り、社会福

社法人として、地域貢献活動に取り組んでいく。

- 感染症の流行を踏まえた基本的な予防と対策を徹底して、十分な休養や、バランスのとれた食事など、健康的な日常生活を心がける。
- 行政、地域包括支援センター、関係事業所、社会資源など、多職種連携しながら、公正中立に総合的かつ効果的なサービスの提供に努める。
- 入退院時には、医療機関、関係事業所と早期に連携して、情報提供、共有をしながら、切れ目のないケアサービスを提供する。
- ご利用者、ご家族の意思、個別ニーズ、人格を尊重して、自分らしい生活が送れるように、その有する能力に応じ、適切な居宅介護支援を提供する。
- 法人内研修、外部研修、オンライン研修など、質の高い教育をみんなに、発信、企画し、積極的に参加して、職員のレベルアップに努める。
- 法人の適正な利益を確保できるように、居宅事業所としての予実管理を行う。
(介護 95 件、支援 20 件、目標額 150.0000 円/月)

せとうちの郷

【相談員】①③④⑤⑥

目標① 「ショートステイ稼働率95%以上、特養入居稼働率95%以上の維持を行う。」

目標② 「多職種連携を強化しチームとして統一感のある介護サービスと充実したケアの提供を行う。」

行動計画

- 選ばれる施設であり続ける行動を行う。については居宅介護支援事業所へ定期的に訪問し藤花会および施設の活動報告の実施、また、LINEワークスの有効活用や空床状況の報告を行い、知名度と認知度の向上をはかり稼働率の維持に繋げる。
- 多職種連携の強化に努め、情報共有や迅速な対応を可能にし、組織の成長を図ると共にご入居者様、ご利用者様へ統一感のある介護サービスの提供を行い満足度上昇へ繋げる。
- ショートステイご利用者様のADLの維持及び向上をはかるため、理学療法士指導の下、介護職員と連携し日常生活動作において生活リハビリの実施を行う。

【ケアマネジャー】⑤

目標 「変わりあるコロナ対策に対応しながら、安定した施設ケアマネジメント環境の提供」

行動計画

- 安定した施設ケアマネジメント環境を提供する。
- 変わりあるコロナ禍に対応しつつ、ご利用者様とご家族様のコミュニケーションを促し、図っていく。
- 多職種、ご家族様との連携を図っていく。

【管理栄養士】⑤⑦

目標 「食べて元気、笑顔になる食事作りを。」

行動計画

- 食事を通じてご利用者様の栄養維持をサポートする。
- LIFEの栄養マネジメントを上手く活用しながら、日々の食生活の質の向上や、個人に寄り添う食事提供により、満足して頂ける食生活を目指していく。更には、残菜量の減少・食品ロスへの削減に努めていく。

【機能訓練指導員】⑤

目標 ① “できるADL” から “しているADL” へ」

② 「身体状況にあったポジショニングを行い褥瘡予防に努める」

行動計画

- 身体機能・認知機能を把握し、個別機能訓練プログラムを立案・実施する。
- 入居者様ご自身でできる動作を他職種と共有し、日常生活動作の中で活かせるよう支援する。
- 自主トレやフロアスタッフと一緒にできる運動プログラムメニューを作成する。
- ポジショニング資料を作成・指導を行い、安楽な姿勢保持・褥瘡予防ができるよう努める。状態変化があった場合には早急に対応する。

【事務】⑤

目標 「安全・清潔な施設づくり」

行動計画

- コロナ禍における情報収集に努め、適正な消耗品・備品管理を行う。またコスト削減を考え、購入先の検討を行う。
- 職員が安心して働けるように職場の環境づくりや職員の健康管理に努める。

【採用・広報】①②③⑦

目標①「インスタグラム採用を構造化し、20代～30代の職員を採用する」

目標②「はたらく&かいごパートナーの推進をし、藤花会を企業にアピールする」

行動計画

- 採用インスタの月間リーチ数2000、集客インスタ月間リーチ数3500を目指す。
- 藤花会のSDGs達成に向け、学校及び社協との連携体制を構築し、中高生への福祉教育をはじめ、広い年齢層の見学やインターンシップ参加者を受け入れる。
- 営業圏域内でSDGs推進企業に赴き、パートナー制度の説明をする。また、取り組みを外部で発表し、営業圏域外、業界外に藤花会をアピールする。

【介護主任】①④⑤

目標①「ご利用者様のその人らしい生活を支援できる施設づくりを目指す」

②「職員の意識・意欲向上に努める」

行動計画

- ご利用者様の「生活の場」ということを意識し、個別ケアをより効果的に提供できるよう多職種共に連携をとる。
- 支援技術向上のため、職員研修の積極的な参加を促し、『私達が入居したい施設』づくりをめざす。

【2階】⑤

目標① 「それぞれの想いをカタチに変え、笑顔が繋がる環境づくりを目指す」

目標② 「“またここに来たい”と思えるショートステイユニットへ」

行動計画

- 入居者様とご家族様の想いをカタチに変えるため、ニーズの把握と情報共有から実現に向け

てフロア全体として行動に移していく。

- 職員の想いをカタチに変えることができるよう、お互いの考えと行動を尊重し、失敗を恐れず挑戦、成長できる環境づくりに努める。
- 利用者様のニーズからショートステイの魅力を伝えることができる取り組みを考案し、選ばれる施設を目指す。
- 思いやりのある行動を心がけ、利用者様とご家族様から安心と信頼をされるショートステイユニットを目指す。

【3階】⑤

目標 「きめ細やかなケアと穏やかで温かい暮らしの提供」

行動計画

- 業務内容を見直し入居者様との関わる時間を作り一人ひとりの興味や想いを引き出し個別ケアに繋げる。
- 快適で季節を感じられる雰囲気づくり。
- 職員一人ひとりが向上心を持ち、質の高いケアの提供とフロア運営を行う。

【看護】⑤

目標①「薄く刻を長期的に支える」(SDGs目標3)

目標②「標準予防策を実践し感染症の発生時も拡大を最小限におさえることができる」

行動計画①

- 利用者、職員の感染症予防の為の啓蒙をしていく。また、利用者の転倒や健康障がいの防止及び重度化の予防に努める。

行動計画②

- 感染対策（手洗い、うがい、手指衛生の5つのタイミングが出来ているか等の指導を行う。
- 利用者の些細な体調変化を見逃さないように日々の健康観察に努める。

【小規模多機能ホーム】⑤③

目標①「利用者様が楽しめる環境を作る」

②「レセプト請求率97%以上を保つ」

行動計画①

- 感染対策を継続する。
- 利用者様の想いに寄り添える環境や関係を作る。
- 「気づき」が増える職員育成に努め、KYTの実施を図る。
- 時間に余裕をもち、業務中の事故や、送迎中の運転に気をつける。
- 職員間や家族との情報共有、コミュニケーションを図る。
- 施設内外の研修参加により、良いケアに繋げる。

行動計画②

- 病院の地域連携室や、居宅介護支援事業所との連携を図る。
- 地域の行事等に参加し、地域の状態の把握と施設の情報を発信する。